

# 行政の窓

## 原木及び木材製品の流通に関する見通し調査 (令和元年6月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m<sup>3</sup>以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:106)
2. 調査実施時期 令和元年6月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査  
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査
4. 企業判断指数の算出方法  
[(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]  
(最大値100/最小値-100)
5. 調査結果(回答工場数:98社 / 回答率:92.5%)

### 【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識, 斜体文字は見通し)

調査時点	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12
H30.9	<b>-38</b>	<i>-34</i>	<i>-35</i>	-	-	-
H30.12	-	<b>-36</b>	<i>-47</i>	<i>-47</i>	-	-
H31.3	-	-	<b>-3</b>	<i>-27</i>	<i>-41</i>	-
R元.6	-	-	-	<b>5</b>	<i>-15</i>	<i>-32</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m<sup>3</sup>)

	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12
当年	160,285	146,052	178,606	-	-	-
(前年)	145,319	128,115	166,125	165,671	160,285	146,052
対前年比	110%	114%	108%	-	-	-

(概況)  
在庫量から判断すると、トドマツの原木在庫は前年を若干上回っているが、今後は緩やかに前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)  
前年と比べ多少は順調/昨年度より1ヶ月分ほど多い/原木不足は変わらず/品薄状態、価格高止まり/港へ行く傾向が強い/需要が落ちている/大径材は入荷量多いが、小径木が不足/原料材は仕入困難

### 【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識, 斜体文字は見通し)

調査時点	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12
H30.9	<b>-10</b>	<i>-9</i>	<i>-19</i>	-	-	-
H30.12	-	<b>7</b>	<i>-10</i>	<i>-9</i>	-	-
H31.3	-	-	<b>-10</b>	<i>-12</i>	<i>-7</i>	-
R元.6	-	-	-	<b>-17</b>	<i>-17</i>	<i>-26</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m<sup>3</sup>)

	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12
当年	205,404	224,597	197,058	-	-	-
(前年)	216,814	214,410	190,366	210,344	205,404	224,597
対前年比	95%	105%	104%	-	-	-

(概況)  
原木消費量から判断すると、トドマツの荷動きは前年並みだが、今後は前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)  
旺盛だが対応可能な工場体制になっていない/受注は前年並み/荷動き順調/関東地区工事情報、オリパラ後の動向注視/輸出向け梱包材が鈍い/住宅着工戸数減少の影響が積木の動きが落ちている

### 【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識, 斜体文字は見通し)

調査時点	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12
H30.9	<b>-46</b>	<i>-39</i>	<i>-47</i>	-	-	-
H30.12	-	<b>-59</b>	<i>-64</i>	<i>-57</i>	-	-
H31.3	-	-	<b>-29</b>	<i>-47</i>	<i>-50</i>	-
R元.6	-	-	-	<b>-17</b>	<i>-41</i>	<i>-45</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m<sup>3</sup>)

	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12
当年	179,587	166,827	224,394	-	-	-
(前年)	220,462	173,281	180,409	192,395	179,587	166,827
対前年比	81%	96%	124%	-	-	-

(概況)  
在庫量から判断すると、カラマツの原木在庫は前年を上回っているが、今後は前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)  
在庫不足感までは感じていない/9月半期まではなんとか維持/入荷は今後も厳しい/運材が間に合っていない/自社造材を使用のため不足感なし/チップ、おが粉用は仕入れが困難/依然として原木不足

### 【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識, 斜体文字は見通し)

調査時点	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12
H30.9	<b>-8</b>	<i>-10</i>	<i>-14</i>	-	-	-
H30.12	-	<b>11</b>	<i>5</i>	<i>-2</i>	-	-
H31.3	-	-	<b>18</b>	<i>12</i>	<i>2</i>	-
R元.6	-	-	-	<b>2</b>	<i>-16</i>	<i>-19</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m<sup>3</sup>)

	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12
当年	287,480	288,663	262,626	-	-	-
(前年)	297,111	309,295	286,973	312,613	287,480	288,663
対前年比	97%	93%	92%	-	-	-

(概況)  
原木消費量から判断すると、カラマツの荷動きは前年を若干下回っており、今後も下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)  
受注は旺盛/荷動きはよい/輸出が鈍っているため動きが少ない/パレット見積もり増えている/受注は不安定/消費税増税、米中貿易摩擦で不透明/梱包材の量が少し減ってきている/トドマツよりは受注良い

(北海道水産林務部林務局 林業木材課 流通加工グループ 電話: 011-204-5491)